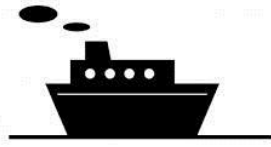


「だれにも話さなかった祖父のこと」

マイケル・モーパーゴ／文
ジェマ・オチャラハン／絵
片岡 しのぶ／訳
あすなる書房



おじいちゃんの若い頃のことをすくなく話さなかったけれど、十二歳のころの夏休み、一人でおじいちゃんの住むシリー諸島へ行き、二人で漁に出た。その時おじいちゃんには誰にも話したことのなかった衝撃的なできごとを語ってくれた。それは幼なじみのジムと商船の船員として航海に出て魚雷にやられた話だった。

夏のおてがみ 中学生 2016



今年の夏休みの予定は？

クラブを頑張る？勉強を頑張る？

図書館は頑張る君を応援するよ！

富田林市立図書館



「ラミッツの旅 ロマの難民少年のものがたり」

グニツラ・ルンドグレーン／作
きただい えりこ／訳
さ・え・ら書房

これは本当にあったお話です。少年ラミッツは、最初ドイツに住んでいました。ロマ人だというだけで、泥棒扱いされることもありました。ある日、ラミッツ一家はコソボへ強制送還されることとなります。それからは、それまで以上の過酷な生活が待ち受けていました。差別、難民、民族紛争などが実際にあるということが語られています。



「スポーツを科学しよう！ トレーニング・競技から用具まで」

深代 千之／監修 PHP研究所



この本では、スポーツに関するさまざまな疑問について答えてくれます。「ヒトの体は、どうやって動くの？」から「走り高とびでは、なぜ背中を下にしてとぶの？」など、みんなが知りたかったことや不思議に思っていたことについて答えてくれています。これを読んで、今年の夏のオリンピックをより楽しんでください。

「大きな写真と絵でみる 地下のひみつ ①人類の地下活用の歴史」

土木学会 地下空間研究委員会／監修
こどもくらぶ／編

あすなる書房

トルコのカップパドキア地方では2400年以上も前に地下都市が形成されていました。そこはただ寝るための場所ではなく、学校や教会、ワイン製造所など、様々な役割を持った部屋がいくつもあり、都市と呼ぶにふさわしい機能を備えていました。この他にも、人類がいかに上手く地下を活用してきたかが多く紹介されています。



「空を飛ばない鳥たち」

上田 恵介／監修
誠文堂新光社



真っ先に思い浮かぶのはペンギン？それともダチョウ？「飛ばない」のではなく、「飛ばない」のには理由があります。泳ぐのに適した水かき、陸上で敵から逃げる為に得た脚力は翼とはまた違った立派な進化なのです。環境に合わせて変化を遂げた鳥たちの暮らしや飛ばないことによって絶滅危機にあることを知ることができます。

「のぞいてみよう ウイルス・細菌・真菌 図鑑① 小さくてふしぎなウイルスのひみつ」

北元 憲利／著
ミネルヴァ書房

ウイルスは19世紀にロシアの学者に発見された微生物で、ほかの生物の生きた細胞に取りつかないとすぐに死んでしまいます。かぜやインフルエンザ、デング熱の原因も全部ウイルスのしわざです。時には取りついた生物を死に至らせることもあるウイルスとはいったい何者なのか。感染経路や感染の予防方法もわかる1冊です。



「三つのまほうのおくりもの」

ジェイムズ・リオーダン／文 エロール・ル・カイン／絵
中川 千尋／訳 ほるぷ出版

むかし、イワンという同じ名前の兄弟がいました。ある日、貧乏な弟イワンは、金持ちイワン兄さんに小麦粉をかりました。ところが、風が小麦粉をふきとばしてしまいます。怒った貧乏イワンは風を追いかけ、小麦粉のかわりに魔法のテーブルかけを手にいれます。それを見たイワン兄さんは弟をだまして横取りしてしまいます。



「エルマーのぼうけん」をかいた女性 ルース・S・ガネット」

前沢 明枝／著

福音館書店



『エルマーのぼうけん』の誕生は、22歳のルースが、スキー場でのアルバイトをしたことがきっかけでした。雪がなかなか降らなくて暇を持てあましていたときに、ルースは『エルマーのぼうけん』を書きだしました。本を書き上げたもののさし絵を描く人がみつかりません。ボーイフレンドに相談すると、意外な人物を教えてくださいました。

「風のヒルクライム」

加部 鈴子／著

岩崎書店



涼太は中学生。父親は仕事ばかりで涼太とはほとんど話もしない。ところが父は涼太の誕生日にロードバイク（レース用自転車）を買ってきて、こう言った。「一緒にヒルクライム（山を登る自転車レース）の大会に出場するぞ」。趣味を押し付けてきた父に腹をたてながらも、初めて参加したレースで、涼太はさまざまな人に出会う。

「ピーテル、はないちぼへ」

広野 多珂子／文・絵

福音館書店



ピーテルのお父さんは花を売りにでかけました。あら、大変です。おつり用のコインを忘れています。おつりがなければ、花は売れないかもしれません。そこで、ピートがボートで届けることになりました。ギイー、バシャ。ギイー、バシャ。ところが、途中で大切なコインを落としてしまいます。いったい、どうしたらいいのでしょうか。

「ぼくたちの相棒」

ケイト・バンクス&ルパート・シェルドレイク／著

千葉 茂樹／訳

あすなろ書房



転校してきたばかりのレスターはとても不安になっている。友達は4歳のときから飼っている犬のビル・ゲイツだけ。また同じクラスのジョージは、親友が転校して、落ちこんでいる。彼もバードという犬を飼っていて、二人は犬に関するある実験をすることになりだんだんと仲良くなっていく。そんな時ジョージに大変な事が起きる。

「イーダ」

美しい化石になった小さなサルのものがたり

ヨルン・フルム&トルシュタイン・ヘレヴェ／文

エステル・ヴァン・フルセン／絵 創元社



大昔の地球にはどんな生物がいたのか、化石はどうやって保存するのか、などを分かりやすく解説した、博物館のような本です。イーダというサル（せいそく）の化石からは、今から約4700万年も昔に生息していたということや、何歳ぐらいだったのか、何を食べていたのか、ということまで、たくさんのが分かりました。

「希望のダンス」

エイズで親をなくしたウガンダの子どもたち

渋谷 敦志／著

学研教育出版



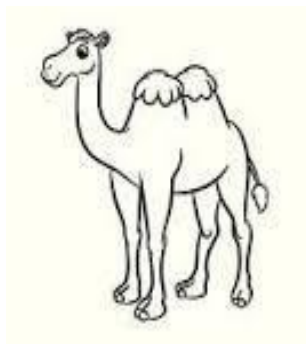
ウガンダでは、エイズで親をなくした子どもたちの多くは学校に通っていません。1日1食の食事さえままならない状況です。そんな中、さまざまな支援を受けた子どもたちはダンスを通して支援者に感謝の気持ちを伝えようとおどりはじめました。するとダンス発表したときの達成感から、子どもたちがだんだんと変わりはじめました。

歴史図鑑「グランド・ルート」

世界を動かした通商と交流の道

アニック・ド・ジリ／文 クリストフ・メルラン／絵

野中 夏実／訳 西村書店



絹の道は、紀元前より時代を治めてきた征服者たちの遠征や、信仰をもたらす巡礼者たち、商人の取引などによって、東西の架け橋となり長い年月を経てきた。また、陸路が天候や鎖国などで閉ざされると、海路も開かれた。絹の道、香辛料の道、塩の道、黄金の道、茶の道について、人類の歴史の交易路がどのようにできたのかを紐解いた歴史図鑑です。

